

ごうつ

市議会だより

江津市議会議長 藤間義明



2022.8
No.152

議会の『新体制』決まる

6月定例会

令和4年6月定例会が6月14日から29日までの16日間の日程で開かれました。改選後の初議会であり、正副議長選挙が行われ、議長に藤間義明議員、副議長に鍛冶恵巳子議員が選出されたほか、監査委員に山根兼三郎議員が選出されました。

さらに、常任委員会、特別委員会の構成も決まりました。

議案審議では、執行部提出議案13件、議員提出議案7件、陳情1件を審議しました。

一般質問は8人の議員が市政全般にわたり、執行部の考えをただしました。

人事

監査委員（議会選出）

山根 兼三郎

正副議長選挙 投票結果

○議長選挙 投票総数 16票

- ・9票 藤間 義明
- ・3票 石橋 孝義
- ・2票 森川 佳英
- ・2票 無効票

○副議長選挙 投票総数 16票

- ・9票 鍛冶 恵巳子
- ・3票 山根 兼三郎
- ・2票 多田 伸治
- ・2票 無効票

正副議長就任あいさつ

この度、議員の皆様のご推挙により、議長に就任させていただきました。大変光栄に存じますとともに、その責務の重さを深く受け止めています。より良い市政推進のため二元代表制の一翼を担う議会として、公正な議会運営を心掛けるとともに、行政の監視機能の充実に努めます。とくに、人口減少に歯止めをかけるために策定された『江津市版総合戦略』に基づく地方創生の取り組みについては、議会として行政へ建設的な政策提言に努めてまいります。また、議会改革として議会のデジタル化・議会広報活動の充実などを推進し、そのための各議員の資質向上も目指します。

新たな市議会として市民のみなさんへ「ふるさと江津に夢と活力を」とお誓いし、安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。どうかご支援よろしくお願いたします。



議長
藤間 義明

この度、議員の皆様のご推挙により、市議会副議長を拝命しました。誠に光栄に思うのと同時に責任の重さもひしひしと感じております。これもまさに現議会が男女を差別することなく私を支持いただけたということと、皆様はお気付きだと思えます。

本市では3月に第4次男女共同参画推進計画を策定しました。その宣言に「1. 男女が互いを認め合い、個性と能力を活かしてあらゆる分野に参画し、魅力あるまちをつくります」とあります。副議長になりましたからには、自らその役割を認識し、本市の課題解決のため藤間議長を補佐し、皆様のお力添えを頂きながら円滑な議会運営と議会の活性化に努めてまいります。



副議長
鍛冶 恵巳子

総務民生委員会

◎森脇 悦朗 ○寺前 克宏
 河野 正行 藤間 義明 森川 佳英
 坂田 優美 植田 圭介 森元 健二

委員長あいさつ

総務民生委員会は、総務部門・民生部門・教育委員会など多くの所管を抱えています。議案の審査だけでなく、各部門のもつ課題や問題点を整理し、現地調査や先進地視察といった手法を用いた調査研究を行い、課題解決の一助となるよう取り組んでまいります。



建設経済委員会

◎坂手 洋介 ○下谷 忠広
 石橋 孝義 山根兼三郎 多田 伸治
 鍛冶恵巳子 植田 好雄 渡辺 信明

委員長あいさつ

建設経済委員会は、市民部門・経済部門・建設部門・上下水道部門など、生活の根本を支えている社会基盤に関するものが多く幅広い分野です。

これらの所管での様々な施策をしっかりと調査し、市民の皆様の付託に応えるよう取り組んでまいります。



議会運営委員会

◎河野 正行 ○坂手 洋介
 森脇 悦朗 多田 伸治 植田 圭介 鍛冶恵巳子

地域医療対策特別委員会

◎鍛冶恵巳子 ○坂田 優美 森川 佳英
 寺前 克宏 植田 圭介 森元 健二

波積ダム対策特別委員会

◎石橋 孝義 ○寺前 克宏 森脇 悦朗
 多田 伸治 植田 好雄 坂田 優美

江の川流域治水対策特別委員会

◎鍛冶恵巳子 ○渡辺 信明 ※外議長を除く議員13人

議会活性化特別委員会

◎坂手 洋介 ○森元 健二 ※外議長を除く議員13人

市議会だより編集特別委員会

◎坂手 洋介 ○下谷 忠広 渡辺 信明
 多田 伸治 植田 圭介 森元 健二
 鍛冶恵巳子

広報広聴特別委員会

◎植田 好雄 ○山根兼三郎 石橋 孝義
 河野 正行 森脇 悦朗 森川 佳英
 寺前 克宏 坂田 優美

令和3年度 一般会計補正予算(第14号)

3月31日 専決処分

承認

特別交付税やその他交付金、また、市債などの確定とそれにともなう基金繰入金の調整。

補正予算額 **395万円**(補正後総額182億914万円)

都市再生整備計画事業

郷田和木海岸線道路整備事業費。星島線緑地整備事業費。

395万円

令和4年度 一般会計補正予算(第1号)

5月27日 専決処分

承認

新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化
交付金による、子育て世帯生活支援特別給付金及び
支給経費。

補正予算額 **2894万円**(補正後総額154億6494万円)

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

新型コロナによる影響が長期化する中での生活支援として、
低所得の子育て世帯に支給。

2894万円

予算決算委員会

委員長／河野正行

副委員長／渡辺信明

委員／議長および監査委員を除く議員12人

委員長あいさつ

この度、予算決算委員会の委員長に選任いただきました。久しぶりの常任委員会委員長ですが、今までの経験を生かし、スムーズな委員会運営ができるよう、渡辺副委員長とともに相談しながら進めてまいります。





当初予算編成後、県補助金などが確定した事業や新型コロナウイルス感染症対策費など。

補正予算額 **4億1465万円**(補正後総額158億7959万円)

有福温泉活性化事業

2億4794万円

有福温泉を風の国温泉とともに整備し、観光地としての魅力向上・地域活性化を図る。

委員質疑

- 問** 有福温泉の街並みとマッチするよう、協議会などとの話し合いができていますか。
- 答** 事業者には街並みに配慮するようお願いしている。街なみ環境整備事業との整合性も考慮し、地域の皆様との合意も必要。



有福温泉

農地耕作条件改善事業

2351万円

松川町市村および桜江町鹿賀における測量設計業務委託料。

委員質疑

- 問** 予算110万円で、消防ホースは何本購入できるか。
- 答** 28本程度を購入予定。

新型コロナウイルス感染症対策費(地域開発費)

1058万円

新型コロナウイルス感染症対策として、非接触型の交通系ICカード導入費用。

委員質疑

- 問** 交通系ICカードICOCA(イコカ)に限定する理由は。
- 答** ICOCAは西日本を中心とした交通系ICカードで、出雲市以東周辺との連携ができ、他の交通系のICカードとの相互利用が可能のため。

新型コロナウイルス感染症対策費(商工振興費)

8257万円

ごうつ地域応援券(3000円分)第2弾を市民全員に配布し、商業活動を応援する。

委員質疑

- 問** ごうつ地域応援券第1弾への消費者からの意見は。
- 答** 飲食店以外でも使い便利だったとの意見や、地域券と共通券があり分かりにくかったとの意見があった。

担い手育成対策事業

ハウス等整備補助金や農地中間管理事業業務経費。 **4088万円**

委員質疑

- 問** ハウス等整備補助金の対象者およびハウスの規模は。
- 答** 対象者は認定農業者3人とJAの4件、ハウスの規模は28棟で63アール。

委員会 ピックアップ



総務民生委員会

● 職員の育児休業等に関する条例(一部改正)

育児休業等に関する法律の改正にともない、雇用環境の整備(研修・相談体制など)や、会計年度任用職員の育児休業取得要件の緩和など、必要な改正を行うもの

質疑

問

職員に対する研修はどのような内容か。

答

育児休業手当金、社会保険の取り扱いなどの制度について情報を提供するもので、個別や階層別の研修によって周知する。

● 江津市土地開発公社定款(一部変更)

土地開発公社定款に関する法律改正にともない、所要の変更を行うもの

建設経済委員会

● 「ごうつ地域応援券」の第2回目実施に関する陳情

市内の経済活動を活発化させるために「ごうつ地域応援券」第2回目の早期実施を求めるもの

質疑

問

同様の要望は市執行部へも来ているのか。

答

大きな項目として話は来ている。

● 国民健康保険条例(一部改正)

令和4年度の国民健康保険料について、新型コロナウイルス感染症の影響により保険料減免に該当することとなった場合の申請書類の提出期限に特例を設けるもの

● 乳幼児等医療費助成条例(一部改正)

乳幼児等医療費助成の対象を18歳まで拡大するとともに、医療費での自己負担をなくすもの

質疑

問

予算の措置がないが条例との整合性はとれるのか。

答

本市の財政状況から、基金の有効活用もでき、施行日までの期間を通常より多く取っているので、対応できると考える。

議決結果【第2回議会定例会】			森元	植田	渡辺	坂田	寺前	下谷	坂手	植田	鍛冶	多田	山根	森川	森脇	石橋	河野	藤間
議案番号	件名	議決結果	健二	圭介	信明	優美	克宏	忠広	洋介	好雄	恵子	伸治	兼三郎	佳英	悦朗	孝義	正行	義明
執行部提案	同意第4号 監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第2号 専決処分報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第3号 専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第4号 専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第5号 専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第6号 専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第7号 専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第8号 専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第34号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第35号 江津市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号 江津市土地開発公社定款の一部を変更する定款について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第37号 令和4年度島根県江津市一般会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	
議案第38号 令和4年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	陳情第1号 「ごうつ地域応援券」の第2回目実施に関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提案	議案第28号 特別委員会(地域医療対策)の設置・委員の選任について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第29号 特別委員会(波積ダム対策)の設置・委員の選任について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第30号 特別委員会(江の川流域治水対策)の設置・委員の選任について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第31号 特別委員会(議会活性化)の設置・委員の選任について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第32号 特別委員会(市議会だより編集)の設置・委員の選任について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第33号 特別委員会(広報広聴)の設置・委員の選任について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第39号 江津市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	

議長職は表決権なし

本会議における賛成・反対意見

議案第37号 | 令和4年度一般会計補正予算

反対 森川 佳英

本来、補正予算は情勢変化に対応するものだが、当初予算成立から3カ月で政策変更もないのに有福温泉活性化事業2億4794万円が計上されている。しかもその大半が風の国への支出で、有福温泉活性化への市民・市内業者の関わり、レッドゾーンなどの安全対策には触れられていない。また、地域応援券第2弾は必要な取り組みだが、コロナ禍・物価高対策として不十分。市民・市内事業者への対応を広く厚くすべきであり反対。

賛成 坂手 洋介

当初予算編成後、県補助金などが確定した事業や新型コロナウイルス感染症対策費などを計上している。新型コロナウイルス感染症対策費として、第2回目のごうつ地域応援券事業や路線バスの交通系ICカード事業などがある。また、観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業補助金である有福温泉活性化事業や継続して実施している農業担い手育成事業など、本市の課題、実情に必要な予算であり賛成。



議案第39号 | 乳幼児等医療費助成条例(一部改正)

反対 森脇 悦朗

政府としての公式解釈を示した行政実例によると、「議会が予算を伴うような条例その他の案件を提出する場合、地方自治法第222条第1項の規定の趣旨に則って、あらかじめ長との連絡を図って財源の見通し等、意見の調整をすることが適当である」と示されている。財源について、基金を取り崩せばいいといった安易な個人の見解を言っても通用しない。よって、議員による予算を伴う条例改正の提案は基本的に無理であると考え反対。

賛成 多田 伸治

日本共産党江津市議団は、市議選で「18歳までの医療費無償化」を掲げ、議案提案権を確保したため、条例改正案を提案した。条文に不備があったことは謝罪するが、財政的には年間3000万円の費用は54億円の基金の活用や施策の優先順位を上げることで実施できる。議員の仕事は、市長の提案を待つだけでなく、提案は可能であり賛成。



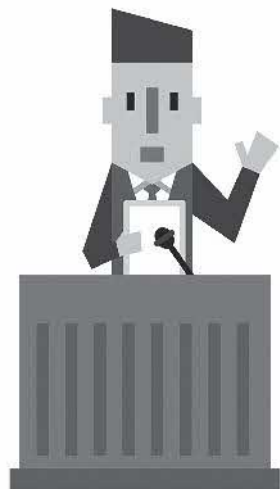
一般質問

市議の

Q & A

市の

A



※一般質問の全ての内容は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」から見ることができます。
(ただし掲載は次期定例会の前になります)

江津市をもっと
暮らしやすくするには、
こうしたらいいな

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

A. Q.

山下市長は本市での13年半をどう振り返るか。

新市建設計画に基づく各事業を着実に推進することで、新生江津市の礎を築くことを目指した。4度の大災害や新型コロナウイルス感染症など、本市をめぐる危機的状況に直面したが、災害発生直後から復旧復興までの一連の取り組みや、感染症への徹底的な対策など、できる限り迅速かつ的確な対応を講じることができ、安堵している。市財政の健全化についても、令和3年度末の基金残高が約54億円に達した。ただ、この過程においては、痛みをとまなう改革もあり、市民生活へのマイナス影響が生じることがなかったとは言えず、忸怩たる思い。

Q

未来の江津に願うことは

A

「一流のまち」と呼ばれるよう心から祈っている

A. Q.

未来の江津に願うことは。

新しいリーダーのもとで、江の川治水・医療対策・有福温泉の再生・移住対策など、解決に向けた取り組みをさらに加速していくことを期待する。ただし、財政状況については、時計の針を戻すことのないよう、さらなる慎重な運用に心がけていただきたい。「一流のまち」と呼ばれるよう心から祈っている。



答弁する山下修市長



河野 正行

Q 江の川治水での
住民への情報提供を

A 可能なところでは対応する



多田 伸治

Q 個別移転・集団移転の対象住民には「移転での家屋の補償額が示されず、将来設計ができない」との不安がある。早期に査定を行い、補償額を示せないか。

A 対応可能なところから実施するが、国交省の予算精査もあり、時期は明言できない。

Q 遅かれ早かれ実施する査定を、なぜ前倒しできないのか。

A 国交省が年度内の事業費から着手できる箇所を選定している。

Q 治水事業の説明会では、住民へ資料提供がない。地元協議会が「必要ない」と言っのか、行政が「出したくない」と言うのか。

A 各地元協議会との話なので、答弁は控える。

Q 江の川治水の事業費は「10年で250億円」で、市長は「不足していると、国・県へ訴えないといけない」と述べていた。5月22日に国交相が本市を訪れ、市長と中村中氏が会っているが、事業費について話をしたのか。

A 「予算確保していかないといけない」と言われた。



移転を含む治水事業が計画される川平町

Q 水害がないことが最も望ましいが、水害発生時の初期対応は

A 空振りを恐れず、明るいうちの避難開始を基本とする



渡辺 信明

Q 内水排除に使用する排水ポンプの配備状況は。

A 令和3年度に松川町市村地区に大型排水ポンプを1台配備済み。令和4年度は大型排水ポンプを渡津地区に1台、桜江町川越地区に2台、小型排水ポンプを松川町八神地区に2台配備予定。

Q 新庁舎建設時に整備した防災情報集約システムの運用は。

A 避難指示の発令判断に必要な河川水位や気象情報などを、自動収集で一元化し、避難状況の把握など情報共有が可能になっており、災害応急対応に活用できる。

Q 浸水発生後の復旧対応に必要な「り災証明書」の発行は。

A 迅速な対応のため、申請を待たず被害認定調査を行い、その際に被災者へ申請書を渡し、交付までの時間短縮を図る。証明書を郵送し、来庁しなくても受け取れるようにした。被災者の負担軽減とより早い支援開始に努める。

「り災証明書」とは

被災者生活再建支援金の支給、税・保険料の減免、義援金などの支援制度で必要となる証明書

Q 自死対策の今後のフォーラムや自死遺族への支援は

A 自死遺族の会に寄り添いながら、啓発活動に協力する



鍛治 恵巳子

Q 本市の自死の現状と傾向は。

A 直近5年間の人口10万人あたりでの単位自殺死亡率としては、25・6から19・2へと減少傾向だが、県の17・1より高い。

Q あらゆる年齢層に対応できるゲートキーパー養成を。

A 令和4年度は生活困窮・自死・ひきこもりに対応する庁内連絡委員会と新規採用職員を対象に養成講座を実施予定。

【いのちの教育】

Q 浜田保健所などと連携し、動物とのふれあいによる教育を。

A 小動物との触れ合いは、アレルギーなどの心配もある。どんな命であっても大切にすることや、生き物との適切な接し方を学ぶことができる教育に努めたい。

Q 【猫の飼育】野良猫関連の苦情は啓発で減らない。頭数を減らすため、本市でも浜田市や吉賀町が実施する繁殖制限・去勢手術の補助を。

A 繁殖制限に対する助成は、野良猫を増やさない取り組みとして一定の効果があり、本市に合った対策を検討する。



環境省「もっと飼いたい?」より引用

Q 中学校卒業までの医療費の無償化を

A 一度始めたら助成を止められない。慎重に判断する

Q 医療費を中学校卒業まで無償化した場合と高校卒業まで無償化した場合の財政負担の試算額はいくらになるか。

A 中学卒業まで無償化すると、年間約1920万円。高校卒業まで無償化した場合の試算は年間約3000万円が必要になる。

Q 病児・病後児保育の充実を。

A 病児保育は、済生会江津総合病院の医師確保が大きな問題。病後児保育は、めぐみ保育園で事業運営の継続に向け連携を図り進めたい。

Q 登園後、体調不良になった場合、体調不良児対応型保育の導入を。

A 施設側の負担もあり、新たな実施は難しい。



植田 好雄

Q 物価高騰による給食費への影響と対策は。

A 食材の変更などで現行の単価の範囲内での対応は可能。緊急的な取扱いとして本市からの補っても検討しなければならない。

Q 給食費の無償化を。

A 小・中学校を無償化した場合、約1億円の財源負担、さらに3歳児以上で約2500万円、3歳児未満児も含めると約4000万円が必要で、新たな財政負担は困難。



病児保育休止中の済生会内にじいる保育園

Q

文化を活かしたまちづくりを

A

ふるさと江津の魅力発信につ
なげていく

Q.

土床坂が27年ぶりの新たな市文化財に指定されたが、地域の魅力発信でどう活かすのか。

A.

山陰道「土床坂」の指定を記念して、講演会の市民講座を実施した。講演会後には、現地見学会も開催し、参加者が江津本町とあわせて土床坂を歩いた。さらに、市民講座と連携して、総合市民センター内に、土床坂で過去に行った発掘調査の遺物などの展示も行う。また、まち歩きをメインとした地域資源の紹介コンテンツを、ホームページで発信している。



長州軍が進駐した土床坂

Q.

学校のふるさと教育での万葉に対する取り組みは。

A.

万葉ロマンに関わる取り組みは、小・中学校9年間を通して、総合的な学習の時間などでの現地探索・調べ学習に加え遠足など、それぞれ特色のある取り組みを行っている。また、市教育研究会では、令和4年度から社会科の教員を対象に、人麻呂ゆかりの地を巡るなど、万葉をテーマにした研修会を新たに開催している。研修に参加した教員からは、もっと積極的に社会科などの授業に取り入れたいとの意見もあり、今後も学校教育全般を通して取り組む。



山根 兼三郎

Q

中学校の運動部活動の
地域移行は

A

学校や地域と連携・共働した
持続可能な制度設計が必要

Q.

部活動の地域移行によるメリットは。

A.

教員の負担軽減による働き方改革の推進で、学校教育の質の向上が期待できる。また、生徒にとっては部活動の選択肢が広がるとともに、様々な価値観を持つ大人との交流につながる。

Q.

本市での部活動の地域移行で考えられる課題は。

A.

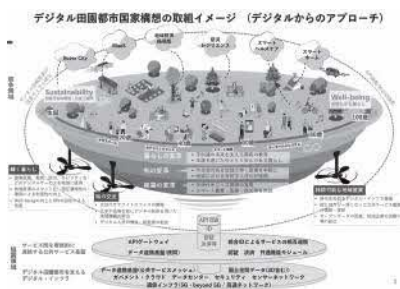
専門性や資質のある指導者の確保が困難なこと、会費や保険などの保護者の経済的負担が増えることが考えられる。大会への参加資格の改定への対応や教員が指導を希望した場合の兼業の取り扱いなども検討が必要。

【行政のデジタル化】

Q. 本市の行政のデジタル化は。国は多様な幸せが実現できる社会・誰一人取り残さない。人に優しいデジタル化など、一人ひとりのニーズにあったサービスが選択可能になるとしている。デジタル社会の構築へ、本市での第6次行財政改革の方針をまとめた「スマートシティ江津推進構想」の策定を進めている。



坂手 洋介



デジタル田園都市国家構想のイメージ (内閣官房ホームページより)

Q 年間1億円あれば学校給食費の無償化は可能。実施を求める

A 学校給食法で保護者の負担と規定されている



森川 佳英

Q 本市での学校給食の費用負担の状況は。

A 1カ月約20食で小学校は5500円、中学校は6200円。

Q 就学中の子どもが2人いる世帯の年間負担は10万円超だが、憲法第26条や教育基本法は、義務教育の無償化を求めており、全国76自治体が学校給食の無償化を実現している。本市でも実施を。

A 学校給食法や学校給食法施行令で、給食にかかる人件費や施設・設備の経費以外の費用は、児童・生徒の保護者の負担と規定されている。

Q アベノミクスの大失政により物価が高騰し、貧困と格差が広がっている。そういう状況では給食無償化が子ども

の食生活を守る。子どもの状況をどう考えるか。

A 就学援助はコロナ前の令和元年度が221人で、コロナ後の令和2年度が222人、令和3年度が236人。大きな影響はない。

Q 就学援助が年々増えているのに、影響がないというのか。

A 若干は増えているが、大きな影響はない。

無償化等の状況	自治体数	割合
1 小学校・中学校ともに無償化を実施	76	4.4%
2 小学校のみ無償化を実施	4	0.2%
3 中学校のみ無償化を実施	2	0.1%
小 計	82	4.7%
4 1~3以外で一部無償化・一部補助を実施	424	24.4%
5 無償化を実施していない	1,234	70.9%
合 計	1,740	100.0%

平成30年7月27日(文部科学省・発表)

お詫び

「市議会だよりNo.151」のP.11 石橋議員の一般質問において「着浜工事」は「養浜工事」の誤りですので、訂正し、お詫びいたします。

YouTube 始めました!

江津市議会では本会議における一般質問の動画をYouTubeにて配信しています。

発言者それぞれの様子をご覧になれます。

詳しくはこちらから!



議員紹介

任期：令和4年6月1日～
令和8年5月31日



森元 健二

(もりもと けんじ)

会派：新政クラブ

期数：1期

住所：都野津町



植田 圭介

(うえだ けいすけ)

会派：市民クラブ

期数：1期

住所：二宮町神村



渡辺 信明

(わたなべ のぶあき)

会派：新政クラブ

期数：1期

住所：桜江町八戸



坂田 優美

(さかた ゆうみ)

会派：新政クラブ

期数：1期

住所：渡津町



寺前 克宏

(てらまえ かつひろ)

会派：新政クラブ

期数：1期

住所：都治町



下谷 忠広

(しもたに ただひろ)

会派：新政クラブ

期数：1期

住所：二宮町神主



坂手 洋介

(さかて ようすけ)

会派：新政クラブ

期数：2期

住所：二宮町神主



植田 好雄

(うえだ よしお)

会派：市民クラブ

期数：2期

住所：敬川町



鍛冶 恵巳子

(かじ えみこ)

会派：新政クラブ

期数：3期

住所：渡津町



多田 伸治

(ただ しんじ)

会派：日本共産党
江津市議会
議員団

期数：4期

住所：渡津町



山根 兼三郎

(やまね けんざぶろう)

会派：なし

期数：4期

住所：都野津町



森川 佳英

(もりかわ よしひで)

会派：日本共産党
江津市議会
議員団

期数：4期

住所：千田町



藤間 義明

(とうま よしあき)

会派：新政クラブ

期数：4期

住所：都野津町



森脇 悦朗

(もりわき えつろう)

会派：なし

期数：5期

住所：跡市町



石橋 孝義

(いしばし たかよし)

会派：なし

期数：5期

住所：都治町



河野 正行

(こうの まさゆき)

会派：新政クラブ

期数：6期

住所：二宮町神主

議席番号順

表彰

【全国市議会議長会】

●議員特別表彰

(議員20年以上)

河野 正行

【中国市議会議長会】

●議員特別表彰

(議員24年以上)

永岡 静馬

(議員20年以上)

河野 正行

藤田 厚

田中 直文

(議員16年以上)

森脇 悦朗

石橋 孝義

(議員12年以上)

多田 伸治

山根 兼三郎

森川 佳英

藤間 義明

●議員普通表彰

(議員8年以上)

鍛冶 恵巳子



議会を傍聴しよう

江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎2階の議場へお越しください。

議会へ参加しよう

市政に対して意見や要望があれば、議会へ請願・陳情することが出来ます。請願の場合は市議会議員の紹介が必要です。お気軽にご相談ください。

次回9月定例会

請願・陳情締切／8月23日午前中まで

日	月	火	水	木	金	土
8/21	22	23	24 委員会 (議会運営) 9:30~	25 全員協議会 9:30~	26	27
28	29	30 委員会 (議会運営) 15:00~	31	9/1 本会議 10:00~	2	3
4	5 議員連絡会 9:30~	6	7 本会議 (一般質問) 10:00~	8 本会議 (一般質問) 10:00~	9 委員会 (総務民生) 9:30~	10
11	12 委員会 (建設経済) 9:30~	13 委員会 (予算決算) 9:30~	14 委員会 (予算決算) 9:30~	15 委員会 (予算決算) 9:30~	16 委員会 (予算決算) 9:30~	17
18	19	20 委員会 (予算決算) 9:30~	21 情報交換会 9:30~	22	23	24
25	26 本会議 14:00~	27	28	29	30	10/1

※開始時間等は予定です。

編集後記

改選後、初めての市議会だよりです。市議会だよりは、議会で議論されたこと、また議会の活動を市民の皆様へお伝えする重要な手段の一つであると考えています。江津市議会も議会活性化の取り組みとして、動画配信など新たな取り組みを始めました。それも重要なことではありますが、紙の媒体での良さがあると思います。これまでの編集委員の皆さんが試行錯誤し、より良い市議会だよりを目指して来られました。新たな編集委員7人も協力しながら、的確な情報をわかり易く、そして親しみやすい紙面を目指して頑張っています。

(坂手 洋介)

市議会だよりは
こちらから



■編集・発行責任者

議長 藤間 義明

■市議会だより編集特別委員会

委員長 坂手 洋介

副委員長 下谷 忠広

委員 森元 健二

委員 植田 圭介

委員 渡辺 信明

委員 鍛冶 恵巳子

委員 多田 伸治